

## 4

# 食物アレルギーは治るの？

東京都の3歳児健診の調査によると、食物アレルギーの子どもの数は年々増えてきています。ただ、3歳ころまでに発症した場合は成長とともに比較的治りやすいと考えられています。

原因となる食べ物により治りやすさの違いはありますが、卵、牛乳、小麦、大豆は、6歳までに約9割が食べられるようになります。乳幼児期では、消化吸収機能が十分発達していないため、タンパク質がきちんと分解されずにそのまま腸に届いてしまうことがあります。このタンパク質を誤って異物として認識してしまうことが、アレルギーがおきてしまう理由のひとつと考えられています。成長とともに消化吸収機能が発達してくるとアレルギーはおこらなくなり、食べられなかったものも食べられるようになってくるのです。

一方、3歳以降に発症した食物アレルギーは治りにくいとされ、20歳以上の大人になっても10人に1人は食物アレルギーを持っているのが現状です。食物アレルギーが治る可能性をより高めるためにも、早めに専門の医師に相談して適切な指導を受けることが大切です。

